

# 公益社団法人 日本地下水学会

## 2022年度 第1回 理事会議事録

1. 開催日時：2022年4月23日（土） 13:30～17:30

2. 開催場所：Web会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：14人

○：出席、×：欠席

理事	石田 聡	×	理事	伊藤 浩子	○
理事	蛭原 雅之	○	理事	遠藤 崇浩	○
理事	小野寺 真一	○	理事	坂本 大	○
理事	杉田 文	○	理事	鈴木 弘明	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	竹内 真司	○
理事	辻村 真貴	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	中川 啓	○	理事	中島 誠	○
理事	古川 正修	○	—	—	—

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 徳永 朋祥

代表理事 徳永 朋祥は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 3月12日：セミナー「土砂災害と地下水」に参加、挨拶
- ・ 3月18日：「地下水のきほん」第4回にパネラーとして参加
- ・ 4月8日：地下水学会事務局にて新規に採用した事務局員に契約書手交

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 蛭原 雅之

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2022年度 第1回理事会 議事次第
- ・ 資料 2 : 2021年度 第8回理事会 議事録
- ・ 資料 a (10種) : 審議資料

- ・ 資料 b (7種) : 協議資料
- ・ 資料 c (18種) : 報告資料

#### 【審議事項】

##### 第1号議案：2021年度事業報告書（総務委員会：資料a審議\_13(総)-1)

- ・ 2021年度 事業報告書について、一部修正（[公2] 2. シンポジウム・セミナー開催事業 の①において、参加者数の85名を92名に修正）のうえ、修正されたものを審議し、承認した。

##### 第2号議案：2021年度決算（会計委員会：資料a審議\_11(会)

- ・ 2021年度決算を承認した。

##### 第3号議案：2022年度学会表彰（表彰委員会：資料a審議\_12(表)

- ・ 4名の正会員を名誉会員候補者とする事、および24名の正会員に永年会員功労賞を授与することについて承認した。

##### 第4号議案：「地下水学術・技術」調査研究グループにおける出版について（調査・研究委員会：資料a審議\_07(調)

- ・ 「地下水学の最先端 (state of the arts)および典型的(classic)学術・技術の調査取り纏め」調査・研究グループの成果物として「地下水の事典」を出版すること、および会長名で著者に執筆依頼を出すことについて、承認した。

##### 第5号議案：入退会の承認（総務委員会：資料a審議\_13(総)-2)

- ・ 8名の正会員について入会を承認した。

##### 第6号議案：地球・資源分野JABEE委員会運営規則の承認（総務委員会：資料a審議\_13(総)-3)

- ・ 地球・資源分野JABEE委員会設立準備会より提示された「地球・資源分野JABEE委員会運営規則」を承認した。

##### 第7号議案：事務局員契約条件変更の承認（総務委員会：資料a審議\_13(総)-4)

- ・ 事務局員との契約更新の条件について、原案の通り承認した。

##### 第8号議案：代議員総会資料等（総務委員会：資料a審議\_13(総)-5)

- ・ 2022年度定時代議員総会資料（案）について承認した。
- ・ 総会後に開催する意見交換会の内容、資料について、会長、副会長、総務委員長、事務局長で案を作成し、理事会に意見照会を行い修正した上で、代議員に事前送信することを確認した。

#### 【協議事項】

##### 企画委員会：（資料b協議\_03(企)

<シンポジウム「トンネルと地下水」(仮) について>

- ・ パネルディスカッションの座長を会長とする点について要請があり賛同を得た。

<今年度の現場調査講習会について>

- ・ 今年度は「揚水試験」についてストリーミング配信を行う案が提示され、賛同を得た。

<今年度のシミュレーション講習会について>

- ・ 対面式での講習会は講師への依頼が困難であり、集客にも課題がある点から、オンデマンドでの開催を検討しているとの状況報告があり、開催方針に賛同を得た。

<石油技術協会とのワークショップについて>

- ・ 石油技術協会と打合せを行った結果、石油技術協会と地下水学会のそれぞれの特徴を生かしたワークショップの共催に向けてワーキンググループを設置する方針となった点について報告があり、賛同を得た。

**総務委員会：**（資料b協議\_13(総)）

<常設委員会活動への参加要件>

- ・ 常設委員会の活動に個人が参加する場合の要件を細則に記載する必要があるとの提案があり、総務委員会で施行細則の改定案を検討することとなった。

<セミナー等への特別会員の参加人数について>

- ・ セミナー等に特別会員所属の方が参加する場合に正会員価格を適用できる人数制限等の運用ルールについて、行事委員会、企画委員会、YEPS委員会、会計委員会等の意見を総務委員会で取りまとめて、次回理事会上に提案することとなった。

## 【報告事項】

**企画委員会：**（資料c報告\_03(企)）

- ・ 3月12日（土）にオンラインで開催されたセミナー「土砂災害と地下水」の開催結果、および次回の「地下水のサロン」の準備状況について報告された。

**行事委員会：**（資料c報告\_04(行)）

- ・ 2022年6月23日（木）～24日（金）に開催予定の第27回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会（幹事学会）について、申し込み状況等が報告された。
- ・ 2022年春季講演会について、申し込み状況等が報告された。English SessionのClosing Remarks は杉田副会長が担当すること、および若手採点の分担案について確認した。
- ・ 2022年秋季講演会の開催計画が報告された。開催にあたり市長宛に送付する依頼状の内容を確認した。

**渉外委員会：**（資料c報告\_05(渉)）

- ・ 2021年度オンライン公開講座「地下水のきほん」の開催結果、および本年度の開催予定について報告された。本年度の開催時期について、1回目は7月、2回目は秋季大会の2～3週間前を想定している。

**編集委員会：**（資料c報告\_06(編)）

- ・ 地下水学会誌第64巻第1号の出版内容、および第64巻2号の出版スケジュールについて報告された。
- ・ 今後、セミナー「土砂災害と地下水」からの原稿で特集を組む予定、およびScopus、ESCI収録に向けた書式改訂を検討予定であることが報告された。

**調査・研究委員会：**（資料c報告\_07(調)）

- ・ 「現場透水試験法の海外技術の普及活動」研究グループは、4月17日の全体会議で出版について議論され、各班における翻訳についての進捗状況が報告された。
- ・ 「地下水学の最先端 (state of the arts)および典型的(classic)学術・技術の調査取り纏め」調査・研究グループは、幹事会を3月3日、10日に開催し、全体的な遅れの状況を考慮して計画の軌道修正を行った。4月2日に全体会議を行い、その後幹事会を4月14日、23日に開催した。また出版社（朝倉書店）との打ち合わせを3月11日に実施し、次回は4月26日を予定している。
- ・ 「地域地下水情報データベースの拡充」調査・研究グループでは、3月29日に全体WGで現状の進捗および今年度の作業計画を議論した。また、北海道大学との今年度の再契約を行った。

#### 市民コミュニケーション委員会：(資料c報告\_08(市))

- ・ 絵本「みず」の100万部記念突破SNS企画「はじめてふしぎに気づいた日」発刊に際してQ&Aの監修を引き受け、監修料1万円が入金予定であることが報告された。
- ・ 前回理事会以降にQ&A コーナーにあった質問（6件）について、質問と回答の状況が報告された。

#### 広報・IT委員会：(資料c報告\_09(広))

- ・ 前回理事会以降の活動状況（HP「新着情報」の更新、各委員会のHPアクセス権の設定等、理事会議事録の掲載、事務局PCの調整）、2022年3月および2021年度のアクセス状況、Facebookページの投稿と閲覧の状況等が報告された。

#### YEPS委員会：(資料c報告\_10(YE))

- ・ 「2022年度若手地下水研究助成」審査のスケジュール等が報告された。
- ・ 日本地下水学会 2022年若手交流会開催の会告について報告された。

#### 会計委員会：(資料c報告\_11(会))

- ・ 2021年度決算の内容について補足説明が行われた。

#### 総務委員会：(資料c報告\_13(総))

- ・ 2021年度監査結果について高坂監事より報告された。
- ・ 次回以降の理事会は、5月14日（土）、6月11日（土）、8月20日（土）、10月8日（土）を予定する。

以上をもって議事を終了したので、議長は17時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2022年5月13日

公益社団法人日本地下水学会 理事会